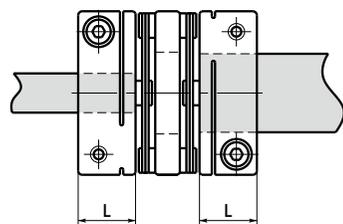


アライメントの調整

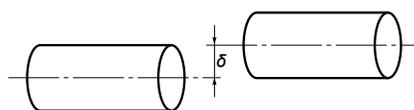
- ① フレキシブルカップリングは、ミスアライメントを許容し、回転角やトルクを伝達しますが、ミスアライメントが許容値を超える場合には、振動が発生したり、寿命が急速に低下することがあります。アライメント調整は必ず行ってください。
- ② 軸心のミスアライメントには、偏心(両軸心の平行誤差)、偏角(両軸心の角度誤差)、エンドプレイ(軸の軸方向の移動)があります。本カタログの寸法・性能表に記載された許容値以下となるように軸のアライメントを調整してください。
- ③ 寸法・性能表に記載されたミスアライメントの許容値は、偏心・偏角・エンドプレイのどれか1つが単独で発生している場合のもので、2つ以上のミスアライメントが複合する場合は、それぞれの許容値は1/2となります。
- ④ ミスアライメントは、装置への組みつけ時だけでなく、運転中の振動、熱膨張、軸受の摩耗などが要因になって発生することがあります。このため、ミスアライメントは許容値の1/3以下とすることを推奨します。

軸挿入量

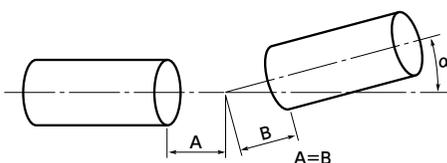
カップリングへの軸の挿入量は、カタログ記載のハブの長さ(L寸法)とすることを推奨します。挿入量がL寸法より長い場合は、カップリング内部に軸の干渉がないことを確認してください。挿入量が短い場合には、軸のスリップやクランプ部の破損が発生することがあります。



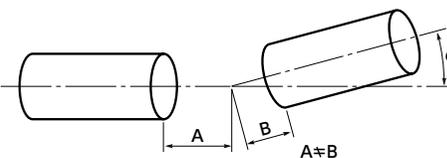
● 偏心



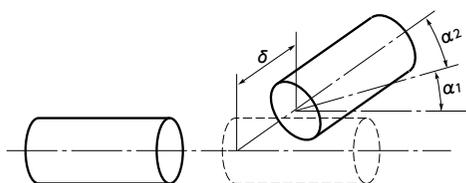
● 偏角(中心一致)



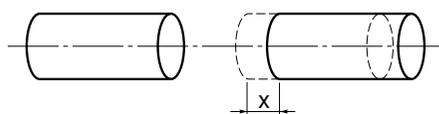
● 偏角(中心不一致)



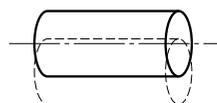
● 偏心・偏角の複合



● エンドプレイ



● 振れ

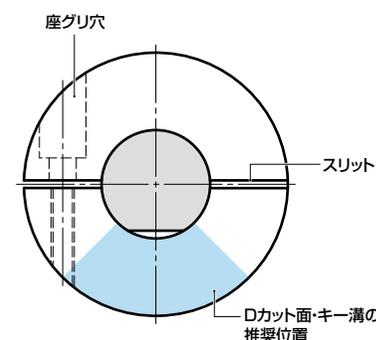


Dカット軸への取り付け

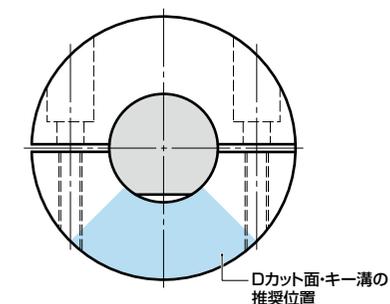
● クランピングタイプの場合

クランピングタイプを使用する場合、軸は原則として丸軸を使用してください。Dカットやキー溝付きの軸を使用する場合は、Dカット面またはキー溝を、スリットおよびボルト用の座グリ穴を避ける位置にして取りつけてください。

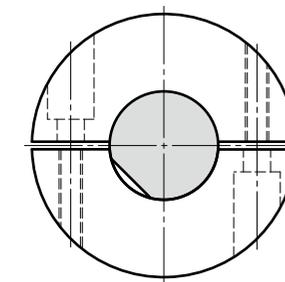
● 六角穴付きボルト1本のクランピングタイプの場合



● 六角穴付きボルト2本のクランピングタイプの場合



● MDW MDS XRP XBW XBWS XBS XBSSの場合



⚠ Dカット面やキー溝が推奨位置ではない場合、六角穴付きボルトの締めつけにより、クランプ部に過剰な負荷がかかり破損することがあります。

● セットスクリュータイプの場合

セットスクリュータイプを使用する場合、Dカット面を止めねじの位置にして取りつけてください。

